

平成 29 年度

# 事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日から  
平成 30 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

## 目 次

平成 29 年度 基本方針	1
<b>I 公益目的事業</b>	
ア. 広報・啓発事業	2
イ. 地域貢献支援事業	3
ウ. 国際協力事業（休止）	4
<b>II 収益事業</b>	
ア. 出版事業	4
イ. 物品販売事業	4
<b>III 管理部門</b>	5

## 平成 29 年度 基本方針

平成36年に開宗850年を迎える浄土宗は、僧侶の資質向上に取り組むとともに、情報発信を強化することで、お寺の社会における信頼性を向上しようとしている。

このような中、当財団は、全国7,000ヶ所のお寺や僧侶が行う公益活動を支援し、地域住民の交流を促し、活気あふれるまちづくりの実現に向け、地域住民とともに喜びあえる事業の実施や、ともに助けあい、支えあう「ともいき」精神の啓蒙活動に取り組んでいる。

平成29年度においては、国内事業に力を入れるため、「国際協力事業」を一時休止し、既存事業を①広報・啓発事業 ②地域貢献支援事業 の2つに重点をおいて、継続して取り組む事業のほか新規のまちおこし活動支援や、「いのち・環境・ともいき」といったテーマで全国的にフォーラムを開催するなどの自主事業等により、浄土宗の公益活動の推進に貢献する。

また、役員等改選の年度にあたることから、財団を取り巻く環境の変化を踏まえ、収支バランス改善を含めた中期計画の策定に取り組む。

# I 公益目的事業

## ア. 広報・啓発事業

当財団の目的である、ともに助けあい、支えあう「ともいき」精神の啓蒙および広報を実施する。対象は全国。また、他の公益団体や報道機関との交流を深め、相互の連携と協力関係の構築のための交流を図る。

### ① ともいき懇話会の運営

報道関係者と浄土宗僧侶によって構成される会。年4回程度の会合を開催し、宗教と社会の関係を議論し、その結果をその他の事業に反映させる。また、平成29年度はメンバーの拡充を図る。

※これまでに扱ったテーマ

「社会は日本の仏教界をどうみているか」

「お寺でできる社会貢献、寺院は介護問題にどう関われるか」

「看取り—どうしたら安心して死ぬるか」

「生殖補助医療（いのちの誕生）の諸問題」等

### ② ともいきフォーラムの開催

仏教的視点から社会問題を問い直し、「ともいき社会」の実現に資する公開講演やパネルディスカッション。平成29年度は年1回または2回開催する。

※これまでに扱ったテーマ

「家族とは？～分かち合う心」

### ③ 相談活動（心といのちの相談所）

仏教精神に基づく電話相談室の運営と人材育成を図るとともに、お寺が行う相談活動に対してのバックアップを行う。

・「心といのちの電話相談室」の運営。

・「電話相談員養成講座」の開催

・「振り返り（研修）」の開催

・「電話相談研修会」（全国）の開催

### ④ 広報活動

ホームページ、ソーシャルメディア（facebook、twitter等）を通して、リアルタイムな情報発信に取り組むとともに、お寺と社会をつなぐ情報を提供する。

## イ. 地域貢献支援事業

お寺・僧侶と地域の人々・組織等が連携して取り組む、「お寺を通したまちおこし」を支援し、お寺や僧侶の社会貢献の拡充を図る事業。対象は国内各地域。お寺や僧侶が地域住民の文化的・精神的拠りどころとなることを目指す。また、国内の災害発生時には、他の事業や団体と連携しながら既存事業のノウハウを活かして現地のニーズに即時対応する。

平成 29 年度は、前年度からの継続事業（※）に加えて、各地の僧侶の意見を取り入れた新規事業を企画・実施する予定。

※継続検討対象となる事業は別添。

### ① まちおこし活動支援

地域の多様な主体と協働し、各地域のモデルケースとなるまちおこし活動を創造・発展させるための支援を行うほか、仏教精神に基づく社会貢献活動や被災地支援活動において、その活動の実施主体者である浄土宗寺院・関係団体から申請があった場合、その資金の全部または一部を助成する。また、全国のお寺や関係団体からの要請を受け、地域住民の生活の質の向上や地域活性のために開催される行事への講師紹介を行う。

## ウ. 国際協力事業

国内事業に集中するため、今年度は休止する。

## Ⅱ 収益事業

### ア. 出版事業（収1）

日本の文化・行事などに根差した仏教的精神を知らしめるための書籍「浄土宝暦」等の制作及び販売を行う。また、寺院史、パンフレット等の受託制作を実施する。

- ① 平成30年版浄土宝暦の制作、販売
- ② 寺院史、パンフレット等の受託制作

### イ. 物品販売事業（収2）

「ともいき」精神を啓蒙するためのグッズ販売等を行う。

- ① 企画・開発
- ② 法然上人スゴロク、法然上人散華の販売

### Ⅲ 管理部門

#### (1) 審査体制の強化

地域貢献を行うお寺の支援について、審査体制の強化を図る。

#### (2) 計画の着実な実行

平成27年度決算にかかる定期提出書類に添付した「改善案」に記載したとおり、公益法人3基準を遵守し、中期計画を策定して着実に実施する。

#### (3) 外部資金の獲得

新規会員の獲得と現会員の継続率を高めるために会員サービスの向上に努める。また、寄附金税制優遇制度を活用した寄附、公益目的事業への企業協賛、収益事業における収益増など外部資金の獲得に取り組む。

#### 《会員制度》

- 会費
- ・法人会員（1口 5万円）…寺院、学校法人、一般企業などが対象
  - ・個人会員 ①正会員（1口 1万円）
  - ②応援会員（1口 3千円）

#### 特典

- ・会員はすべて税制上の優遇措置が受けられる。
- ・浄土宗教師には功績点を付与（1万円以上の会費納入の場合）。

以 上

## 【 別 紙 】

### 地域貢献支援事業 継続検討対象

まちおこし活動を創造・発展させるための支援や、被災地の支援等を行うもの。

- 1、願海庵祭り・・・岩手県二戸市 → 助成金申請  
岩手教区願海庵にて開催される祭りを支援（10月）
- 2、日高念仏大法会・・・和歌山県日高地方 → 助成金申請  
お寺50ヶ寺が協働して、地域活性と文化の継承を目的とした行事を支援（11月）
- 3、菩提寺大イチョウコンサート・・・岡山県勝田郡奈義町 ※要検討  
法然上人初学の地である菩提寺で地域活性と文化の継承を目的としたコンサートを開催（8月）
- 4、ふくしまっ子 Smile プロジェクト・・・福島県全域 → 助成金申請  
原発事故の影響によるストレスを軽減するために福島県在住の親子を対象とした保養プログラムとして田植え・稲刈り体験ツアーを実施。（5月・10月）
- 5、支援者サポートプログラム@熊本・・・熊本県被災地域 → 自主事業  
東日本大震災における「心のケア支援」の経験を活かし、熊本地震に対する支援活動を行う。支援活動に参加する僧侶に、支援の心構えや傾聴に関する技能についての指導とアフターケア等のサポートを行う。（月1回）
- 6、心のケア支援活動@石巻・・・宮城県石巻市 → 自主事業  
ボランティアのカウンセラーとともに東日本大震災の被災地に赴き、遺族の心のケアを行う。（隔月1回）また、相談活動を行うカウンセラー（支援者）をサポートするための研修としてスーパービジョンを適宜実施する。
- 7、社会慈業委員会「ひとさじの会」との協働 → 助成金申請  
お寺、僧侶の自主的・主体的な社会活動を支援する一環として、路上生活者支援を行う団体「ひとさじの会」に対し、活動スペースの提供や資金援助を行う。